

口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

大会第1日 [5月17日(火)] 9:00~12:00 口頭・セッション

A1A, B1A, C1A:各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A1A	B1A	C1A
		降水システム I	気候システム I	物質循環システム
	座長	足立 透 (気象研)	新藤 永樹 (気象研)	村山 利幸 (東京海洋大学海洋工学部)
09:00~		PR-01+ 足立 透(気象研) PAWRおよびCNNによる竜巻性渦の立体検出技術の初期評価	CL-01+ 竹村 俊彦(九大応力研) 2022年1月トンガ火山噴火に伴う気候変動のシミュレーション	MC-01+ 阿保 真 (都立大) ライダーで観測される夜間大気境界層内のCO2濃度増加 イベントのトラジェクトリ解析
09:20~		PR-02+ 瀨瀨 丈晴(名大ISEE) MP PAWR で観測された関東の降雹 事例	CL-02+ 戸田 賢希(AORI) 温暖化時の海陸昇温コントラストメカニズム~準平衡状態~	MC-02+ 今須 良一(東大AORI) 気象庁観測船による大気中CO2カラム平均濃度の観測
09:40~		PR-03+ 宮入 真菜(名古屋大学環境学研究科) マルチパラメータ・フェーズドレイ気象レーダデータを用いた孤立積乱雲のライフサイクルにおける内部構造の変化	CL-03+ 新藤 永樹(気象研) 水惑星実験及び AMIP 実験による ITCZ と長波雲放射効果の関係について	MC-03+ 村山 利幸(海洋大) 波長355nmでの黄砂の偏光ライダー観測
	座長	櫻井 南海子(防災科研)		
10:00~		PR-04+ 櫻井 南海子(防災科研) 2018年8月26日に発生した「青天の霹靂」と親雲の特徴	CL-04+ 黒田 友二(気大) 太陽活動の北大西洋振動への影響：海洋の役割	MC-04+ 河合 慶 (名大院環境) アジアダストの発生・輸送・気候影響に対する臨界摩擦速度の重要性
	座長		美山 透(海洋研究開発機構)	田上 雅浩(国立環境研究所)
10:20~		PR-05+ 岩崎 博之(群馬大教育) 雷撃密度と雨量の分布から見た北関東における雷神社の分布の特徴	CL-05+ 塩崎 公大(九大応力研) WPパターンに対するインド洋昇温の影響	MC-05+ 柴田 風衣(山梨大学) 偏光光散乱式粒子計測器における雲粒判定方法の検討および氷雲検出の可能性
10:40~		PR-06+ 塚越 葉奈(名大ISEE) 梅雨前線帯降水システムで発生した複数の突風の事例解析	CL-06+ 竹村 和人(気象庁) ロスビー波の砕波によって生じるPJパターンの事例の推定割合	MC-06+ 山崎 耕平(東大AORI) LES領域モデルSCALE-RMを用いたエアロゾル排出に対する混合相雲の応答の数値実験
11:00~			CL-07+ 美山 透(国立研究開発法人海洋研究開発機構) 海洋再解析による北西太平洋の海洋熱波寒波データ	MC-07+ 田上 雅浩(NIES) NICAM-WISO による寒冷域でのd-excess のバイアス分析

11:20～		CL-08+ 藤原 正智(北大地球環境) SPARC Reanalysis Intercomparison Project (S-RIP) の概要とS-RIP Phase 2計画について	MC-08+ 伊藤 彰記(JAMSTEC) IMPACTモデルの福江島における微小エアロゾル元素組成・ブラックカーボンの高時間分解観測データを用いた評価
--------	--	---	--

## 口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

### 大会第1日 [5月17日(火)] 13:00～16:00 口頭・セッション

A1P, B1P, C1P:各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A1P	B1P	C1P
		気象予報 I	観測手法 I	環境気象 産業気象 気象教育
	座長	藤田 匡(気象研)	猪上 淳(極地研)	藤部 文昭(都立大)
13:00～		WF-01+ 畔野 貴弘(気象庁数値予報) 気象庁局地解析へのハイブリッド同化手法の導入に向けた開発	OB-01+ 飯塚 達哉(NTT) センサ応答時間を考慮したドローン上昇速度による大気鉛直分布測定精度の検討	EM-01+ 藤部 文昭(都立大) 夏季高温による日本の超過死亡率の長期変化
13:20～		WF-02+ 樋口 真悠子(気象庁数値予報課) 気象庁メソ数値解析予報システムでの船舶GNSS可降水量の現業利用	OB-02+ 猪上 淳(極地研) 市販のドローンで高精度の気象観測を行う手法の開発	EM-02+ 大橋 唯太(岡山理大・生物地球) 気温に感度をもつ循環器・呼吸器疾患の死亡がコロナ禍でどのように変わったか?
13:40～		WF-03+ 藤田 匡(気象研) スケールを考慮した変分法による高頻度高密度データ同化手法の検討	OB-03+ 小司 禎教(気象研) 遅延量勾配を用いた船舶搭載GNSS可降水量の品質管理	EM-03+ 田中 健路(広工大環境) 2022年1月15日のフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山噴火に伴う日本付近における空気振動の伝播(第1報)
14:00～		WF-04+ 岡部 いづみ(気象研) リトリーブ地表面温度を用いた静止気象衛星CO2バンドの晴天放射輝度温度データ同化	OB-04+ 工藤 玲(気象研) 全天カメラによる雲分布・雲底高度分布の推定	EM-04+ Seiji Shimoda(農研機構北農研) 近年の北日本の冬季積雪傾向の変化が土壌温度に与える影響
	座長	南出 将志(東京大学)	大和田 浩美(気象庁)	飯泉 仁之直(農研機構)
14:20～		WF-05+ 岡本 幸三(気象研究所) 静止衛星の全天候赤外輝度温度同化	OB-05+ 大和田 浩美(気象庁) RTTOV13.1によるMTG/IRSのシミュレーションの調査	IM-01+ 小畑 淳(気象研) トンガ沖噴火、寒冷化凶作不安、市場過熱と気候情報

14:40～	WF-06+ 南出 将志(東京大学/JPL) 大アンサンブルによる全天赤外輝度温度同化を通じた対流の予測可能性	OB-06+ 黒沢 裕也(名大ISEE) GPM DPR の固体降水プロダクトの評価	IM-02+ 飯泉 仁之直(農研機構) 気候変動適応に資する再解析・予報接合データの作成
15:00～	WF-07+ ソン キウエン(理研) Increasing the Efficiency of the Control Simulation Experiments with the Lorenz-96 Model	OB-07+ 岩下 久人(明星電気) 様々な気象条件下における山間部でのGSMaP衛星観測とPOTEKA地上観測との比較分析	IM-03+ 保坂 征宏(気象研) 気候データ可視化システムCDVoB(仮称)の開発
15:20～	WF-08+ 前島 康光(理化学研究所・計算科学研究センター) 領域気象モデルを使った局地豪雨の制御シミュレーション実験(2)	OB-08+ 青梨 和正(京都大学大学院理学) 次期GSMaPマイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズム(V06)開発(その2): DPRとGMI観測値から求めた固体降水粒子特性	ME-01+ 納口 恭明(防災科研) 水と空気層で作るベナール・セルの鉛直パターン可視化
15:40～	WF-09+ 石橋 俊之(気象研) 全球大気と地球表面状態等の結合同化に向けて	OB-09+ 古澤 文江(宇地研) 多衛星マイクロ波観測データからの降水プロダクトの観測時刻に基いた比較	ME-02+ 山本 哲(芙蓉日記の会) 大日本気象学会員 野中至(到)・千代子

## 口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

### 大会第2日 [5月18日(水)] 9:00～12:00 口頭・セッション

A2A, B2A, C2A:各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A2A	B2A	C2A
		気象予報Ⅱ	熱帯大気Ⅰ	中高緯度大気
	座長	山崎 哲(JAMSTEC)	坪木 和久(名大字地研)	春日 悟(三重大学生物資源学研究所)
09:00～		WF-10+ 原田 やよい(気象研) 様々な観測データセットを用いたJRA-3Qの品質評価	TR-01+ 山田 広幸(琉球大理) 航空機観測により捉えた台風Mindulle(2021)の暖気核構造	MH-01+ 栃本 英伍(防災科研) スプリット前線の統計的特徴と温帯低気圧との関係
09:20～		WF-11+ 直江 寛明(気象研究所) 気象庁長期再解析(JRA-3Q)非衛星時代の品質評価(その2)	TR-02+ 坪木 和久(名大字地研) 新ジェット機へのドロップゾンデ観測システム搭載と台風Mindulle(2021)の観測概要	MH-02+ 春日 悟(三重大学生物資源学研究所) 日本域へ到来する寒冷渦の特徴

09:40～		WF-12+ 山崎 哲(JAMSTEC) 両半球での2019年成層圏突然昇温のLETKF再解析システムでの再現性	TR-03+ 菱沼 美咲(横国大) 回転水槽実験装置を用いた台風内部構造の模擬実験	MH-03+ 山本 晃立(東大AORI) 寒冷渦の維持に寄与する渦間相互作用
	座長		嶋田 宇大(気象研)	
10:00～		WF-13+ 福井 真(東北大) 長期(2001-2020)日本領域再解析の再現性の検証	TR-04+ 金田 幸恵(名古屋大学ISEE) 顕著台風の多重壁雲構造と強度変化	MH-04+ 釜江 陽一(筑波大生命環境) オホーツク海海氷面積の急変動をもたらす大気循環場の特徴
	座長			岡島 悟(東大先端研)
10:20～		WF-14+ 安藤 滋人(MEC) ロケットの安全飛行に向けた気象情報の評価(1)～ゾンデ観測と毎時大気解析GPVの比較～	TR-05+ 嶋田 宇大(気象研) 発達ハリケーンの上層アップシアー左象限で観測される強い上昇流について	MH-05+ 吉田 聡(京大防災研白浜) 真冬の北太平洋爆弾低気圧活動の1980年代後半からの急激な活発化
10:40～		WF-15+ 対馬 雄一(MEC) ロケットの安全飛行に向けた気象情報の評価(2)～気象庁数値予報モデル出力値の精度評価～	TR-06+ 佐々木 春花(気大) 台風の極端急速強化における海洋熱塩構造の役割に関する研究	MH-06+ 岡島 悟(東大先端研) 北太平洋の移動性擾乱活動の「真冬の振幅低下」に対する擾乱の構造と背景場の役割
11:00～		WF-16+ 小野 耕介(気象研) 降水予報へのアンサンブル次元の利用		MH-07+ 齋藤 圭祐(総研大極域科学) 南極氷床上に設置したAWSにより観測された積雪面レベルの時間変動の特徴とデータ処理手法の検討
11:20～				MH-08+ 平沢 尚彦(極地研) 南極氷床上のAWS群が捉えたトンガ噴火に伴う衝撃波
11:40～				MH-09+ 平沢 尚彦(極地研) 南極昭和基地の地上大気中の <sup>7</sup> Be濃度の日別通年観測

口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

大会第2日 [5月18日(水)] 13:00~16:00 口頭・セッション

A2P, B2P, C2P: 各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A2P	B2P	C2P
		降水システムⅡ	気候システムⅡ	大気境界層 大気放射
	座長	谷田貝 亜紀代 (弘前大理工)	山中 大学 (地球研)	河合 祐太 (理化学研究所)
13:00~		PR-07+ 村上 正隆(名古屋大学 宇宙地球環境研究所) エアロゾル・雲・降水統一 (CReSS-4ICE-AEROSOL) モデルを用いた UAE日周対流雲の再現実験	CL-09+ 島袋 琉(熊大院 自然科学教育部) 機械学習のクラスタリング技術を用いたアリソフ気候区分の改訂	BL-01+ 工藤 達貴(筑波大院) 生保内だしの気候特性に関する解析
13:20~		PR-08+ ONG CHIA RUI (東京大学) Idealized Large-Eddy Simulations of Arctic Mixed Clouds Observed during M-PACE Campaign	CL-10+ 山中 大学(地球研) 多雨米作列島国の行政区画人口密度依存性の気候学的要因	BL-02+ 小野寺 平(筑波大院) 高密度地上気象観測から判明した清川だしの吹走範囲
13:40~		PR-09+ 馬場 雄也(JAMSTEC) 雲解像モデルに基づくスペクトル型積雲対流スキームの性能まとめ	CL-11+ 天野 未空(三重大院生物資源) 災害級の冷夏が近年発生していない理由とは？	BL-03+ 久米田 健人(慶應大学) 宗谷北部での強風特性について
14:00~		PR-10+ 岡崎 恵(京大院理) ふた山形状の雨滴粒径分布の観測事例解析と形成物理メカニズム	CL-12+ 竹端 光希(三重大院生物資源) オホーツク海の海水変動に及ぼす熱帯海洋からの遅延影響	BL-04+ 河合 祐太(理研計算科学) 不連続ガラーキン法を用いた大気ラージエディシミュレーション: 数値誤差に関する指標の導出
	座長		福井 真 (東北大)	関口 美保 (東京海洋大学)
14:20~		PR-11+ 谷田貝 亜紀代(弘前大理工) 弘前市における降水の同位体比変動 -2021年2月16日の降水起源-	CL-13+ 加藤 実紗(三重大学) 黒潮大蛇行が及ぼす海上の落雷分布の変化	BL-05+ 稲垣 厚至(東工大) 熱画像風速測定法を用いた都市街区内風速分布の観測
	座長	鈴木 賢士 (山口大院創成)		
14:40~		PR-12+ 正木 岳志 (京大院理) チベット域における地上ドップラーレーダ観測を用いた衛星搭載降水レーダ降水タイプ分類アルゴリズムの検証(その2)	CL-14+ 北野 慈和(一般財団法人電力中央研究所) 大量アンサンブル気候予測データを用いた風向別風速極値の将来変化の分析	RD-01+ 関口 美保(海洋大) 広帯域放射伝達モデルMstmの気体吸収過程の更新(その1)

15:00～	PR-13+ 吉村 飛鳥(名大ISEE) 深層学習を用いた客観的粒子判別システムの精度改良	CL-15+ 福井 真(東北大) 東北南部及び北信越の山岳域における積雪の将来変化	RD-02+ 桃井 裕広(千葉大学) 切断近似による偏光放射伝達の効率的計算法の開発
15:20～	PR-14+ 篠原 雅貴(京大) レーダ反射強度と落下速度を用いた層状性降水雲中の固体降水粒子タイプの推定	CL-16+ 河合 英俊(放送大学大学院) 新型コロナ(COVID-19)新規感染者数と気候の影響(2)	
15:40～	PR-15+ 鈴木 賢士(山口大院創成) 新しい粒子撮像ゾンデRainscopeによる雲内の降水粒子落下速度測定		

## 口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

### 大会第4日 [5月20日(金)] 9:00～12:00 口頭・セッション

A4A, B4A, C4A:各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A4A	B4A	C4A
		気象予報Ⅲ	熱帯大気Ⅱ	大気力学 中層大気 惑星大気
	座長	安田 勇輝(東工大)	石崎 紀子(国環研)	中島 健介(九大・院・理)
09:00～		WF-17+ 高谷 怜(大阪ガス株式会社) 深層学習による雷ナウキャスト高精度化検討	TR-07+ 荒金 匠(AORI) 北西太平洋における夏季季節内振動の北進伝播に対する台風の効果	DY-01+ 伊藤 創司(慶應大) 日本空域の上層における乱気流の発生環境場の季節別特徴
09:20～		WF-18+ 小野寺 孔明(東工大) 注意機構付き深層学習による都市街区熱環境マップの物理超解像	TR-08+ 荻野 慎也(JAMSTEC) 研究船「みらい」による西太平洋における2021年夏季モンスーン・対流季節内変動に伴う物質循環の観測	DY-02+ 佐野 美憂(三重大生物資源) 熊野灘で観測された海上竜巻の発生環境場
09:40～		WF-19+ 安田 勇輝(東工大) 回転同変な畳込ニューラルネットによる2次元流体の超解像	TR-09+ 石崎 紀子(国環研) パナマにおける降水量の日変化に見られる地域性	DY-03+ 小原 涼太(東北大学院理) Cold Air Damming (CAD)に伴う強い降水帯に対する内陸の地形の高さの影響

	座長		柳瀬 友朗 (理研CPR)	
10:00～		WF-20+ 北村 祐二(数値予報開発センター) 2022年の気象庁メソモデル更新の概要	TR-10+ 坂本 律(新潟大院) 熱帯インド洋におけるOLR日気候値振動	DY-04+ 中島 健介(九大・院・理) トンガ火山噴火により励起された大気海洋波動に関する初期的考察
	座長	中川 雅之(気象研)		
10:20～		WF-21+ 林 修吾(気象研) NHMとasucaによるモデル間相互比較実験(冬季)	TR-11+ 中村 雄飛(東大大海研) 赤道Rossby波・Kelvin波に結合する降水・雲の統計解析	DY-05+ 佐藤 宏樹(京大院理) 非対称に粗度ブロックを配置した竜巻状渦数値流体実験
	座長			小林 ちあき(気象研)
10:40～		WF-22+ 山崎 一哉(東大院理) MIROCでのスーパーパラメタリゼーションの改良	TR-12+ 柳瀬 友朗(理研CPR) 下層循環と自由対流圏変動の結合を通じた湿潤対流の自己集合化メカニズム	MA-01+ 奥井 晴香(東大院理) 全大気長期解析値を用いた北半球冬季クライマトロロジーと成層圏突然昇温時における渦位構造と惑星規模波の解析
11:00～		WF-23+ 中川 雅之(気象研) 気象庁全球モデルにおけるグレイゾーンに対応した積雲対流スキームの開発(1)		MA-02+ 小林 ちあき(気象研) 再解析で表現される平均子午面循環の強度差の要因の考察
11:20～		WF-24+ 金浜 貴史(気象庁数値予報) 気象庁全球モデルにおける地形効果表現の改良に向けて		PA-01+ 小郷原 一智(京産大理) 複数地域における火星ダストストームの自動領域分割

口頭プログラム

日本気象学会2022年度春季大会

大会第4日 [5月20日(金)] 13:00~16:00 口頭・セッション

A4P, B4P, C4P:各講演の開始時刻に差異が生じる場合があることをご留意ください

開始時刻		A4P	B4P	C4P
		降水システムⅢ	気候システムⅢ	観測手法Ⅱ
	座長	末木 健太 (理研計算科学)	横島 徳太 (国立環境研究所)	川村 誠治 (NICT)
13:00~		PR-16+ 加藤 輝之(気象研) アメダス3時間積算降水量でみた集中豪雨事例発生頻度の過去45年間の経年変化	CL-17+ 栗田 直幸(名大宇地研) 東南極ドームふじ周辺における温暖化影響の実態把握	OB-10+ 岩井 宏徳(NICT) 高出力2 $\mu$ m水蒸気差分吸収ライダーの性能評価
13:20~		PR-17+ 石井 智(京大院理) 潮岬風力実験所におけるマイクロ波放射計を用いた降水前の水蒸気変動の分析	CL-18+ 廣田 渚郎(国立環境研究所) MIROCにおける雲・降水プロセス高度化の雲フィードバックへの影響	OB-11+ 山中 沙羅(TMU) 次世代衛星搭載コヒーレントライダーのためのシミュレータ開発に向けて
13:40~		PR-18+ 児玉 真一(東大AORI) 9月の台風による日本の遠隔降水の力学的解析	CL-19+ 横島 徳太(国立環境研究所) 地球システム統合モデルによる将来シナリオ評価	OB-12+ 吉田 智(気象研) 教師なし機械学習によるラマンライダーデータのノイズ除去(2)
14:00~		PR-19+ 末木 健太(理研計算科学) 西日本全域500 m解像度のH30.7豪雨アンサンブル予報実験	CL-20+ 釜江 陽一(筑波大生命環境) 地球温暖化による東アジアにおける極端降水の増加に対する大気の大気の川の寄与	OB-13+ 柴田 泰邦(都立大) ライダーによるCO <sub>2</sub> ・気温観測精度向上のための気圧高度分布モデル評価
	座長	辻 宏樹 (東大大気海洋研)	土井 威志 (JAMSTEC)	
14:20~		PR-20+ 郭 威鎮(気象研) Numerical Simulation on Feasibility of Rain Enhancement by Hygroscopic Seeding over Kochi Area, Shikoku, Japan in Early Summer	CL-21+ 林 未知也(国環研) 日本域の気候変動影響評価適応研究のために選択されたCMIP6の将来予測ミニアンサンブルの分析	OB-14+ 川村 誠治(NICT) 地デジ放送波を用いた地表付近の水蒸気量観測 -九州実証実験の現状 その2-
	座長			堤 雅基 (極地研)
14:40~		PR-21+ 西井 章 (名大宇地研) 高知県室戸半島から南北に延びる地形性線状降水帯(室戸ライン)の維持機構	CL-22+ 三浦 陽介(JMBSC) 水文学的観点から見た高解像度AGCMの降水の再現性	OB-15+ 高橋 暢宏(名大ISEE) 二重偏波レーダの校正について
15:00~		PR-22+ 北島 尚子(気象大) 2021年8月13~14日の西日本の大雨に対する前線と総観場の流れの影響	CL-23+ 楠 昌司 (気象研) 高分解能全球大気モデルの降水量再現性	OB-16+ 堤 雅基 (極地研) 南極昭和基地大型大気レーダーに付加した受信システムによる長期連続流星風観測



15:20～	<p>PR-23+</p> <p>中 七海 (京大院理)</p> <p>九州北部で発生した豪雨事例における環境条件およびMAULの解析</p>	<p>CL-24+</p> <p>塩竈 秀夫(国環研)</p> <p>21世紀後半までの降水量変化予測の不確実性低減</p>	<p>OB-17+</p> <p>LUCE Hubert (RISH)</p> <p>Estimation of TKE Dissipation Rate from Radar Data using a Weak Stratification Model</p>
15:40～	<p>PR-24+</p> <p>辻 宏樹 (東大大気海洋研)</p> <p>GPM搭載降水レーダ観測データを用いた 2021年8月に九州で大雨をもたらした降水システムの解析</p>	<p>CL-25+</p> <p>土井 威志(JAMSTEC)</p> <p>シグナルノイズ比は季節予測精度を暗に示すのか? -日本周辺における1ヶ月先の気温予測の精度調査より-</p>	<p>OB-18+</p> <p>大野 裕一(NICT)</p> <p>WINDAS鉛直速度観測を用いた高層雲の解析(6)</p>